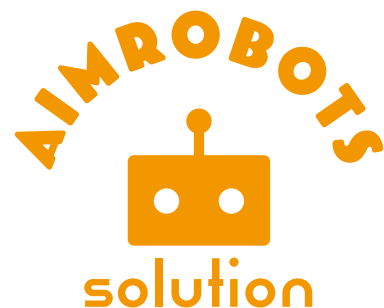


# エイムロボット エレベーターソリューション

EVアダプターとシステム全体



## エイムロボットクラウド

### エイムロボットクラウド (AWS)

ロボット本体・かご上モジュールと通信し、ロボットの位置情報・状態を管理します。クラウドでロボットを管理することにより他のシステムとの連携を実現します。

### 昇降路内センサーモジュール

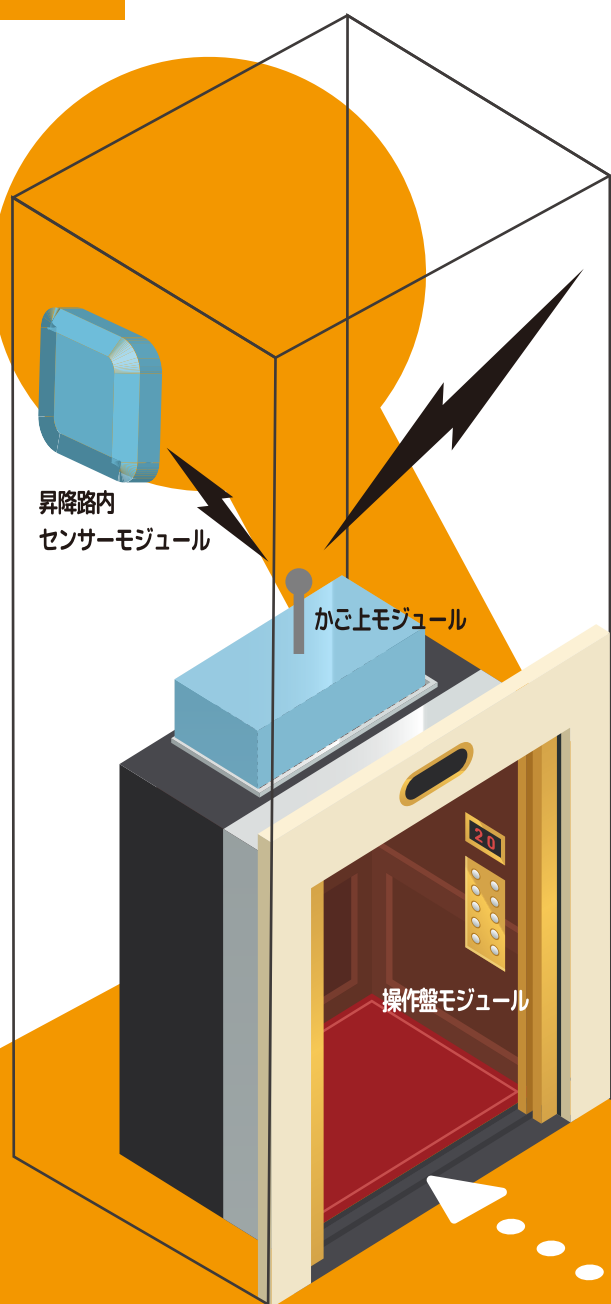
エレベーターかごが今どの位置にいるかを把握するモジュール。かごの位置情報を管理することにより、ロボットがエレベーターに乗り降りするタイミングを調整します。

### かご上モジュール

エレベーターかごの上部に置かれるかご上モジュール。これによりロボットとエレベーターのコミュニケーションを取ります。昇降路内モジュールより送られてきたエレベーターかごのフロア情報により判断しロボットへの信号の送信タイミングを調整します。また、ロボットより送信されたエレベーターコントロール信号を操作盤モジュールに送ります。

### 操作盤モジュール

エレベーターの操作盤内に取り付け、人間が物理的にボタンを押したのと同じ状態を作り出します。



新型・旧型・メーカーを問わず！

## エイムロボットはエレベーター乗降を可能にします

ホテル・商業施設・高齢者施設・病院・オフィスなどへ  
サービスロボットの利用が拡大。新たなサービスを生み出します。

# EV アダプターとロボットの動き

## 通信機能付き EV アダプターの提供 ※EV の押しボタンをロボットから遠隔で押す機能

コストは工事費含んで 100 万円/台以内、作業日数半日程度

現状は、既存の国内のエレベーターの大部分はロボットとの通信接続ができない旧型のエレベーターですので、自動乗降ができません。それらのエレベーターをロボットとの通信接続可能な新型の専用クラウドに接続するには、相当な改造が必要で多大なコストがかかりますし、そもそも大半の旧型エレベーターではその改造もままなりません。弊社開発の EV アダプターはこの問題を根本より解決し、廉価で取付も簡単です。

### EV 制御盤

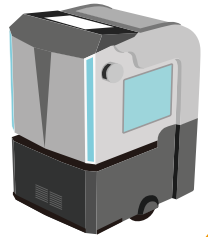


- EV の 2 階ボタンを押す
- RFID で 2 階到着検知
- EV の 3 階ボタンを押す

### AIM EV アダプター



### サービスロボット



- 2階から305号室に行きたい
- 2階でEVに乗り込む
- 3階に着きEVから出る

## もちろん 新型のエレベーターメーカー提供クラウド連携方式にも対応します

ロボット内部に搭載されている通信ゲートウェイはエレベーターメーカーの提供する最新のエレベーター管理クラウドとも通信できます。



具体的な実装については保守会社の紹介を含めお問い合わせください

お問合せ先

WEB ADDRESS



エイム・テクノロジーズ 株式会社

〒105-6004

東京都港区虎ノ門 4-3-1 城山トラストタワー 4F

TEL 03-5244-4301

代表取締役 吉本万寿夫

<https://aim-tech.jp>